

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
313891_南部町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	「まち未来科」の学びをより一層、地域と協働的に実践する必要がある。	コロナ禍により活動や学習の内容に制限があったが、コロナ前に戻りつつある。	各校が「まち未来科」の単元構想図（誰がみても単元の流れがよく分かるもの）を作成し、コミュニティ・スクール関係者の参画を図る。	「まち未来科」における地域との協働が進み、地域住民の参画が計画通り行われる。	「まち未来科」等に参画した地域住民の人数（延べ人数）	159	人	200	161	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 「まち未来科」に参画した地域住民の延べ人数は昨年度に比べて全体的には微増であった。ただし、学校別に見ると増加している学校と減少している学校が混在しており、活動が活発化している学校と停滞している学校の学校間格差が認められる。また、参画する地域住民が固定化する傾向もみられる。今後は学校における活動をより一層活性化するとともに、幅広い地域住民の参画を促す取組の充実を図る必要がある。	南部町ホームページ